



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.102



## 7月

発行 / 公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp

URL : <http://www.kankou-fa.jp>

2015年7月1日

## 公益社団法人 国際観光施設協会会長就任にあたって

会長 鈴木 裕

昨年インバウンドは1,340万人を突破し、2020年には目標の2,000万人以上の達成が視野に入ってきました。この勢いを国内観光の火種にしていよいよ観光立国、地方創生に向けて拍車が掛かって来ました。こうした時期に国際観光施設協会の第9代会長を拝命しますことは誠に名誉なことと感謝しますとともに、重大なる責任を痛感しております。

さて、当協会は創立以来今年で62年を迎えましたが振り返りますと、戦後外国人客をお迎え出来る国際的ホテルを整備すべく情報発信と啓蒙活動を意図して国際観光設備協会として発足しました。その後国際観光施設協会と改称し、柴田会長の時に観光を点から線、更に面として捉えるべきという趣旨で観光交流空間を提案しました。村尾会長は観光交流空間として景観の重要性を追求され、中山会長は当協会の公益社団法人認定に尽力され、環境省より地球温暖化防止活動として環境大臣賞を受賞したエコ・小活動をとおして観光地でのエネルギー問題に積極的な提案をされています。錚々たる先輩の功績を引き継ぎます私の使命であります。観光立国の機運のなか日本のお役に立つよう当協会活動を広く社会に認知してもらうように当協会の認知度を高めていくことだと考えます。日本ブランド構築の一翼を担うため自らがブランドとなることを目指したいと思っております。

当協会は国際観光振興に寄与する技術を基盤に社会貢献をする唯一の公益社団法人です。

正会員は日本を代表する

- 1) 建築・内装・構造・設備・造園・店舗の設計事務所
- 2) ゼネコン・サブコン・内装・造園・サイン工事の会社
- 3) 各種メーカー
- 4) コンサルタント

等々です。

賛助会員は 旅館・ホテル経営・運営者です。

私はこの会員のパワーを結集し協会をブランド化していきたいと思っております。

さてその手法ですが、CSVと言う概念があります。Creating Shared Value, 則ち「中長期的な視野を持って、社会的意義のある事業活動を行うことで、社会とステークホルダー双方にとって価値を創造していく」という考え方です。当協会にうってつけの概念です。今活動している内容、これから始める内容、それらにCSV的企業として会員には全社参加していただき力を結集して日本のお役に立っていききたいのです。またエール大学にMedia Lab. という組織があります。異業種間の交流により全く新しい価値を産み出している創造的機関です。CSV的活動を通して異業種交流により新しい価値を産みだし自社の事業にも成果をもたらす。則ち我々は、CSVで観光のハードに貢献する観光メディア・ラボというブランドとなり、日本ブランド創造のお役に立っていききたいと思っております。皆様の一層のご協力をお願いしまして私の挨拶とさせていただきます。

## 平成27年度の通常総会と関連行事 報告

去る6月17日、渋谷エクセルホテル東急にて、平成27年度通常総会が開かれました。総会議案については滞りなく承認され、任期満了に伴う役員改選では新会長に鈴木、副会長には涌井(再任)、兼平、花又、大内の3名が新任されました。

総会后、「東急グループによる渋谷駅周辺大規模開発プロジェクト」について東急不動産 内田統括部長、東急電鉄 馬場統括部長より涌井副会長のコーディネーターのもとご講演をいただきました。その後に行われた情報交歓会も盛況でした。

総会に先立ち観光庁より石原観光産業課長にご挨拶をいただきました。

### 議案

- ・第1号議案平成26年度事業報告は、森副会長が説明し承認されました。
- ・第2号議案平成26年度収支決算報告は、山方副会長が説明し承認されました。
- ・平成27年度事業計画は、涌井副会長より報告されました。
- ・平成27年度収支計画は、山方副会長より報告されました。
- ・第3号議案 推薦会員は、渡 和由氏と柵木鬼美夫氏が承認されました。
- ・第4号議案 役員の選任は、別記の方々が承認されました。  
新理事による理事会が開催され役職役員が決定されました。

### 役員改選報告

会長		理事	
鈴木 裕	(株)観光企画設計社	八木 忠彦	(株)ワイジーコーポレーション
副会長		佐藤 四郎	(株)日比谷アメニス
涌井 史郎	東京都市大学	淀川 正敏	(株)安井建築設計事務所
兼平 慎	(株)乃村工藝社	江中 伸広	建築家
花又 昇	オフィス・ハナマタ	石橋 裕之	(株)ジェアル東日本建築設計
大内 政男	三菱地所設計(株)	小川 正晃	(株)ユニ設備設計
常務理事		佐々山 茂	(株)佐々山建築設計
立石 博巳	元・ヒガノ	安藤 勢津子	(株)日建スペースデザイン
寺本 昌志	(株)メック・デザイン・インターナショナル	岡野 正人	エム・オープランニング
浅野 一行	(株)タツ総合研究所	野出木貴夫	鹿島建設(株)
理事		崎山 茂	(株)日本設計
見並 陽一	(公・社)日本観光振興協会	遠藤 幸雄	パナソニック(株)
宮武 茂典	(一・社)日本ホテル協会	吉田 伸典	TOTO(株)
佐藤 英之	(一・社)日本旅館協会	監事	
中山 智雄	(一・社)全日本ホテル連盟	福井 稔	福井A・Uシステム計画
		伊藤 肇	元・三菱地所設計

顧問・相談役には以下の方々に就任いただくこととなりました。

顧問 溝尾 良隆 春口 和彦

相談役名誉会長 中山 庚一郎

相談役 大木 健次 平田 純一 山方 茂利 森 一朗 金光 義和 横山 豊

情報交歓会では観光庁ほか観光関係団体より多くの方々のご臨席を賜り次の方々にご祝辞をいただきました。  
(参加者 213名)

観光庁観光地域振興部長 吉田雅彦氏 国土交通省大臣官房審議官 若林陽介氏  
日本政府観光局理事 山崎道徳氏 日本能率協会理事長 中村正己氏

## 「渋谷駅周辺大規模開発プロジェクト」 セミナー 報告

6月17日午後、総会と同じ会場で、関連行事のセミナーが催され、東急不動産都市事業本部渋谷プロジェクト推進部統括部長 内田克典様と東急電鉄経営企画室観光事業開発部統括部長 馬場隆光様のお二人から標題のテーマで講演頂きました。東急不動産内田様からは、渋谷駅周辺エリアのオフィスと商業施設の高い市場性が紹介され、変貌を遂げようとする渋谷駅周辺の様子をCG動画などで披露頂きました。

東急電鉄馬場様からは、スクランブル交差点に代表される観光地としての渋谷のポテンシャルの説明と、渋谷への更なるインバウンドを如何に導くか、「日本一訪れたい街 - 渋谷」、Visit Shibuya キャンペーン等、渋谷の魅力づくりの戦略を紹介頂きました。

お二人の講演に続いて、涌井史郎副会長にコーディネーターとして加わって頂き、パネルディスカッションが行われ、「渋谷のレガシー」、「広域渋谷圏の魅力」等について活発に議論して頂きました。注目される「渋谷駅」がテーマのセミナーには230名を超える出席者を集め、盛会となりました。

## ホテルグレイスリー新宿 施設見学会 報告

新宿歌舞伎町の旧コマ劇場跡地に開発され本年4月に開業したホテルの見学会は90名を超える参加者をむかえ6月2日(火)午後12時~16時までホテル内1階イタリアンレストラン・ボンサルーテでおこなわれました。数名のグループごとに客室と館内をホテルスタッフの案内で見学後、ホテル総支配人の渡辺やすみちさん、ホテルの設計者竹中工務店設計2G課長の関谷和則さんに講師としてホテルの内容、設計趣旨等について、映像と資料により説明をしていただきました。東宝映画のゴジラをテーマにされた経過や、970室の大規模ホテルの運営と歌舞伎町の将来の街づくりを視野に入れた、劇場とホテルの複合プロジェクトならではの特徴的なデザインについて興味深い報告でした。

懇親会ではホテル側のおいしいイタリアンと飲み放題プランにより満足な懇親会でありました。歌舞伎町界隈が訪れる国内外のゲストにとって安全で快適なまちづくりに対する多様な提案が見られました。



## 新入会員紹介 (入会順)

### [メ-カ-] (株)SHY

(代表者)代表取締役社長 (担当者)業務課 主任  
林 口 典 雄 加 藤 紀 子  
〒514-0801 三重県津市船頭町津興 3455 番地  
TEL059-226-3334 FAX059-224-8841  
営業内容：各種ロールスクリーン、経木すだれ、木製ブラインド等日除け製品の輸出入業務

### [メ-カ-] (株)アンド・ワークス

(代表者)代表取締役  
刀 根 幹 典  
〒216-0004 川崎市宮前区鷺沼 1-17-8-107  
TEL044-863-8637 FAX044-863-8638  
営業内容：建築内外装飾、立体・平面オブジェ、美術工芸品等の演出造形(アートワーク)を一括して行う

### [推薦] 渡 和由

筑波大学 芸術学部 准教授  
〒305-8574 茨城県つくば市天王台 1-1-1  
筑波大学芸術棟 B 433 渡研究室

### [推薦] 柵木 鬼美夫

帝京大学 経済学部 観光経済学科 教授  
〒192-0395 八王子市大塚 359 番地

## P 第105回ゴルフ会結果報告 P

2015年6月5日(金)に「朝霧ジャンボリーGC」にて開催されました。宿泊可能の企画により前日よりゴルフ話を肴に盛り上がりました。当日は一時雨に降られましたが雄大な富士を眺めながらの本格コースとゆったりとしたリゾート気分を十分に楽しめました。競技につきましては激戦のなか、NRTシステム成田様が優勝しました。表彰パーティではいつものわきあいあいとした雰囲気とともに、会員の方々がゴルフ場からの協賛によりさらに盛り上がりました。ありがとうございました。次回もよろしくお願い致します。

## ◎編集後記◎

平成27年度通常総会において新しい役員人事が承認され、鈴木裕新会長のもと体制が一新され、新たな時代を迎えることとなりました。

会長は、これからの公益法人の事業として、これまで積み上げて来た実績を土台に更なる発展を目標にした「協会のブランド化」を宣言されておられます。

今日のような総合的な観光事業への研究は、冒頭の会長のお言葉にあります通り、柴田会長時代に、観光交流空間全体を捉えた研究の大切さを提唱されたことにあります。この「観光交流空間」の文字を当時の定款の事業目的に加筆させてもらえるよう、総務委員の役目として事務局長共々観光庁の窓口に何度となく通い詰めたことを思い出します。

新しい力で新たな目標が達成できますよう、これからもそれぞれの役割を活かして全員で努力してまいります。

Y . K